

品田 充儀

厚生労働省労働保険審査会 委員

研究テーマ：持続的な高齢者医療保健と介護保険のあり方

－ 連帯の枠組みにかかる基礎研究 －

高齢者の医療問題は、ニーズが大きく費用総額が大きいにもかかわらず、サービス受給者たる高齢者は一般的に負担能力が低いことから、その負担構造の論理は社会的コンセンサスが得にくい問題となる。本研究は、高齢者医療と介護保険制度の現状における問題点を、国民連帯のあり方という視点から捉え直す、基礎的な研究をするものである。高齢者医療にかかる過去の制度は、いかなる連帯の枠組みにあったと評価できるのか、後期高齢者医療制度は、その構造からみてどのような連帯を実現しようとしたと言えるのか、さらに現代の国民のライフサイクルを捉えた場合、どのような連帯の形が最も受け入れやすいのかを検討した。現状において、高齢者の医療及び介護にかかる歴史とその制度の理論を確認することはできたと言える。しかし、高齢者医療と介護にかかる連帯の枠組みのあり方という本質的な問題には十分に言及できたとは言えず、多くは今後の研究にゆだねざるを得ない。